

回答については、質問時の基準に沿って回答しておりますので、現時点とは異なっている場合もございます。

### Q33 (VRE)

下記の経過等を踏まえて、ご助言下さい。

#### 経過

当特養ホームから近隣病院へ入院していた入所者がこの度退院して施設に戻ってくることになりましたが、その際病院からの説明は、次のようでした。

「病院内でVREが集団感染し、第1次保菌者及び感染元は病院職員であった。このことを受け病院は、入退院をストップして、職員、入院患者全員の検便検査を行った。現在は終息に向っており、当施設より入院している入所者の退院受け入れの打診があった。当施設より入院していた入所者にも2週間前より2回検便検査を行い(-)であった。現在3回目の検体を検便に出している。」との説明を受けました。

この病院は、今年になって2～3ヶ月の間にVREの集団感染が2回あったということです。

1. 2回の検便検査が(-)ということで、現在のところ保菌者ではないのでしょうか。
2. 3回目の検便検査で(-)ということは、99%保菌者でもなく、今後発症する可能性は著しく低いのでしょうか。
3. 当施設に受け入れるとして、個室対応で、糞便処理、衣類・寝具類の管理等徹底した感染症対策が必要なのでしょうか。そして、定期的な検便検査が必要でしょうか。

### A33

1. 便培養の陽性率は便中に含まれる菌量にも影響されます。したがって、2回の培養陰性の結果は、VREが存在しない可能性とVREが存在しても少ない可能性が考えられます。臨床的には、この方は保菌者ではないと判断して良いと思います。
2. 今後便培養でVREが分離される可能性は低く、発症する可能性も著しく低いと判断いたします。
3. 現段階での個室管理の必要性は低いものと考えます。他の入所者と同様に、感染予防策としての通常の標準予防策で対応して下さい。今後下痢、発熱などの症状がある場合には便培養は速やかに行ってください。

回答については、質問時の基準に沿って回答しておりますので、現時点とは異なっている場合もございます。

### Q34 (VRE)

#### VRE感染者の施設入所について

パーキンソン病による嚥下困難の為、胃ろう造設手術を実施されています。その後発熱・膿尿が見られ、翌日尿の培養検査実施した所、バンコマイシン耐性腸球菌（VRE）が検出されたとのこと。抗菌薬「テファドリンナトリウム」使用中で、（1週間後再度、尿・便・痰の培養検査実施）退院予定とのこと。

現在病院では個室対応・排泄介助時は使い捨てグローブ使用。痰の上昇があり、吸引を施行していますが、吸引チューブは使い捨てで対応しています。今後、当老健施設へのショートステイの利用をご希望されていますが、入所の受入れは可能と考えるべきでしょうか。上記のような対応は施設では困難です。

受入れ可能な場合、以下の対応方法において注意すべき点、また必要な対応等がありましたら、ご教示を宜しくお願い致します。

- 対応方法 1. 排泄介助・汚物処理について
- 2. 個室対応の必要性
- 3. 経管栄養ボトル等の消毒について
- 4. 入浴・洗濯について

### A34

VRE（タイプは？AかB？）が尿から検出された方だが、テファドリンナトリウム（セファゾリンのこと？）投与で退院も予定されているので、VREが原因とはなっていない（発症はしていない？）場合の老健施設へのショートステイ（数日間の入所と考えます）に関して、いただいた情報で可能な範囲でお答えいたします。

#### 1. 排泄介助・汚物処理について

この方はオムツを使用されているのでしょうか。に尿・便・痰の培養検査が再度実施されていますが、おそらく便はVRE陽性かと思えます。VREの感染経路はヒトや物品を介した直接・間接の接触感染です。とくに便や尿、オムツを扱う場合には介助者が予防策をきっちり行うことが重要です。注意点として、周囲を汚染させないように注意して手指衛生と使い捨ての手袋やエプロンの使用を行ってください。オムツや使用後の手袋はその場でビニール袋（ゴミ袋など）に入れて運ぶなどの工夫もあればいいかと思えます。また、汚物処理室やトイレの環境を汚染させないように注意することも大切です。排泄介助後・汚物を扱ったあとの手指衛生にも留意してください。

清掃に関しても、接触する箇所（便座やドアの取っ手など）は念入りにやっていただいた方がいいでしょう。なお、痰の吸引チューブは施設では使用時毎回交換することは難しいでしょうし、他の入所者と共有することはないと思いますのでVRE保菌者以外の方と同様の管理でよろしいかと存じます（1日1本または、その方専用なら数日から1週間程度の使用）。

#### 2. 個室対応の必要性

排泄の介助が必要な方の方ですので、個室が望ましいと考えます。

#### 3. 経管栄養ボトル等の消毒について

経管栄養ボトルは、使用後は次亜塩素酸ナトリウム（ハイター<sup>®</sup>）で消毒しておられれば十分です。ボトルは1日1回の交換で結構です。気になるようでしたら、ボトルはその方専用にしてもいいかと思えます。

回答については、質問時の基準に沿って回答しておりますので、現時点とは異なっている場合もございます。

#### 4. 入浴・洗濯について

入浴は、浴槽等洗い流せば大丈夫ですし、入浴に関連してVREが伝播した事例は存じ上げません。順番を最後にしていただいても、浴槽等は洗剤であらって十分に水か熱水で洗い流せばよろしいかと思います。

洗濯は、乾燥機までかければVREは問題ありません。乾燥機を使わない、または汚れたものについては、ハイター<sup>®</sup>に漬けた後で洗濯するかすすぎでハイター<sup>®</sup>を加えればよろしいと思います。

最後に、VREは伝播性の高い細菌ですが病原性は高くありません。血液悪性疾患や抗がん化学療法中の患者など極度に免疫能の低下した方や、血管内カテーテル留置中の患者でなければまず感染症（下痢や肺炎、敗血症など）を発症することはありません。老健施設でそのような方を収容することはないと思いますし、職員の方に感染症を起こすこともありません。ただ、合併症などのために病院で入院治療を必要とすることがあれば、VREについての情報提供は必要です。ご理解とご協力をお願いいたします。